

岐阜信金の高校生ビジネスコンテスト



ビジネスプランをプレゼンする高校生たち＝岐阜市神田町、「G's Dream」

岐阜県と愛知県の高校生が考えたビジネスプランを競うコンテストが、岐阜市神田町の岐阜信用金庫の「G's Dream」で開かれた。グランプリに輝いたのは、岐阜農林高校食品科学科3年の長屋旬亮さん(18)、深見心結さん(17)ら5人で行くグループ「食品乾燥班」。太陽光で野菜などを乾燥させる段ボール製の「ソーラーフードドライヤー」を活用し、食品ロス削減につなげるプロジェクトを発表した。

(山岸達矢)

岐阜農林高が初代王者

フードドライヤーで食品ロス減提案

同金庫が初めて主催し、「地域の課題を解決する」などをテーマに、21校、145組が応募。予選を通過した10組が登壇し、発想力や実現可能性、プレゼンテーション力などの審査を受けた。

プロジェクトのきっかけは、地域から寄せられた規格外農作物を使った実習で、多くの食品ロスが生じていたことから。「腐敗前に乾燥させれば、保存性を高められるのでは」と考えた。段ボール製にすることで、軽量化でき、環境にも優しい。保温性も電気式の乾燥機に匹敵するほか、均一に熱が伝わるため食材の形が崩れにくいなどの利点も持つ。

事業計画では、一般家庭や業務用の販売などで1年目は680万円の売上高を目標に設定。将来は小学生向けの自由研究キット化も見据え、環境教育に活用する考えもある。審査員からは「科学的根拠がすごい」「既に事業を実現できてい

る」といった高い評価が寄せられた。

長屋さんは「第1回のグランプリを受賞できて光栄に思う。今後も取り組みを広げていけるように頑張りたい」と喜びを語った。